

「巴World」(2010) デジタルプリント

# 関 信 一 展 —画業50年の軌跡—

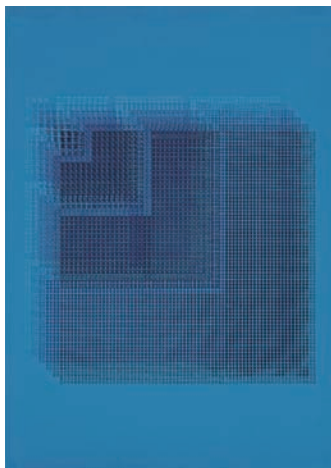
2015.7.4(土) – 8.2(日) 毎週木曜日休館 10:00 – 17:00 open

今年画業50年をむかえた関信一。「目に見えるもの」すべての造形の基になる点・線・面・空間・光についてシルクスクリーンの色彩の美しさを手段として長年追求してきました。

近年は「巴」をモチーフにして生命力、新陳代謝、神秘性などを表現しつつ、更に純粋な色とかたちによる抽象的表現によって内なる声や目に見えない世界の領域へと突き進んでいます。また、かつて西洋画が入りこみ先人たちが模索したように「デジタルプリント」という未知なる可能性をしたたかに追い続ける作品群は、観るものに一石を投じる展覧会となるものと存じます。

ぜひ皆様のお越しをお待ちいたしております。

心の花美術館 館主 加藤泰子



「作品74M-2」(1974) シルクスクリーン



「即興の詩1」(2013) デジタルプリント

関 信 一 1942 長野市生まれ

- 1965 東京教育大学(現、筑波大学)芸術学科構成専攻卒業
- 1966 第16回モダンアート展入選(東京都美術館)
- 1971 ICOGRADA(国際グラフィックデザイン評議会)国際会議=於・ウィーン出席、その後ヨーロッパ各国を視察  
特に独・ミュンヘンの「レーンパッハ・ギャラリー」でW・カンデンスキーの抽象絵画を鑑賞し強烈な印象・感銘を受ける
- 1973 第23回モダンアート展 優秀賞受賞(東京都美術館)  
コンクリート・ポエトリー'73 ASA展(銀座・地球堂ギャラリー)
- 1975 モダンアート展 会員推挙(東京都美術館)  
個展(静岡・三菱信託銀行静岡支店画廊)
- 1980 個展(銀座・ギャラリー・オカベ)  
個展(静岡・ガスサロン)
- 1986 現代の作家展(長野・信濃美術館'87)
- 2005 スペイン・ガリシアの世界遺産  
サンティアゴ・デ・コンポステーラ視察
- 2006 慶応義塾大学出版会刊行「遠藤周作」(加藤宗哉著)の装丁画として「インヴェンション'92-緑へ」が採用される
- 2007 新國誠一&ASA展(東京・ギャラリーオキュリス)
- 2008 信州大学退任記念 関信一展(長野・ギャラリー82)
- 2011 関信一展 一巴(銀座・ギャラリー志門)
- 2012 関信一展 一神秘と宇宙(長野、川中島・ギャラリータカハシ)
- 2013 関信一展 一即興のかたち(銀座・ギャラリー志門)

その他、招待・グループ展 多数

現在、モダンアート協会会員 信州大学名誉教授 長野県東御市在住

★入館料 Cafe・Shopコーナーは無料にて入館できます

・一般：300円 ・シニア(70才以上)：150円

・学生(小学生~高校生) 障害をお持ちの方：150円

## 心の花美術館

art collection museum

HP: 心の花美術館▶検索  
長野県上田市中央2-7-23

メール: info@kokohana-artmuseum.com  
tel/fax: 0268-22-0022 (加藤・増田)

主催：心の花美術館

協賛：「ART浴」実行委員会

後援：上田市教育委員会・東御市・東御市教育委員会